

今年の福を呼び込め!「節分祭」

2月3日、無病息災を願い「節分祭」が角館町神明社において行われました。節分行事の由来は、旧暦で、立春が1年の始まりであったことから、立春の前日にあたる2月3日に1年の邪気をすべて祓ってしまう鬼払いの儀式です。

神明社では、氏子や33歳、42歳の厄祓い、後厄を終えた代表、還暦の方々の代表などが「福は内」「鬼は外」の掛け声とともに豆や紅白餅、お菓子などをまくと、境内に集まった約200人の人たちが福を呼び込もうと一斉に手を伸ばし豆や餅をひろっていました。

また、境内に設けられたテントでは、仙北市商工会、角館町観光協会により温かい甘酒等が振る舞われました。



第14回おやま囃子芸能発表会

2月11日、仙北市角館交流センターにておやま囃子芸能発表会が開催されました。今回は14団体(約200人)が参加しました。また、会場には800人を超えるお客様にも来場いただき、大盛況でした。

この行事は、国指定無形民俗文化財「角館祭りのやま行事」の重要な構成要素である「おやま囃子」を、日頃練習している若者たちに、その成果を発表する場を設け一堂に披露することにより、レベルアップを図り、伝統の継承活動に寄与するものです。



交通栄誉章緑十字金章受章

1月16日、東京都日比谷公会堂で、仙北地区交通安全協会神代支部長 佐藤公平氏(田沢湖角館東前郷字七ツ関)が、交通安全功労者の最高の栄誉である、交通栄誉章緑十字金章を受章しました。

これは、永年の間、交通安全運動の推進に尽力し、積極的な取り組みをされているほか、永年、無事故無違反に徹し、優良運転者であることから、警察庁長官、全日本交通安全協会長の連名表彰であり、また、奥様の正子さんには、内助の功として感謝状の贈呈がありました。

なお、この章は、旧角館警察署時代から現在にいたるまで、管内において4人目の受章となります。



元気なふるさと秋田づくり県民運動で1団体が表彰

県仙北地域振興局が主催する「元気なふるさと秋田づくり県民運動」の表彰式が2月10日大仙市で行われ、活発な地域づくり活動をしている2団体が表彰されました。

仙北市からはトンギョの会(大石淳会長・会員32名)が表彰され、2月12日、市へ報告に訪れました。

トンギョの会は「多様な動植物の生きている自然の中で生活したい」という理念の基に、平成12年に設立され、地域に生息するイバラトミヨ(トンギョ)の保護活動を行っているほか、大沼公園でのブラックバス退治を目的とした釣り大会の開催、地元の子どもを対象とした淡水魚やホテル・植物についての学習会を開くなど、環境保全活動や学習活動に力を入れています。

特に環境保全活動を通じて農村地域を元気にしていこうと市産業祭でふるさとの自然について展示発表を毎年行うなど、積極的な地域活動も評価されての表彰となりました。

また、同会は活動を通じ、県内外等からの交流人口を増やすことで地域づくりに貢献していきたいと抱負を語ってくれました。

